

■各施設の方向性

主な工事および修繕

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年
修繕	■外壁	■高機能 消防指令 システム ■D判定 ■D判定 (第1、7 分団)	■非常用 発電機 ■D判定 ■D判定 (第8、11 15分団)						●ハリポート・ グラウンド 舗装	
工事	■仮眠室	■高機能 消防指令 システム ■仮眠室 ■設計 (第3分 団)	■融雪 装置 ■融雪 装置 ■移転 (第3分 団)				■高機能 消防指令 システム			

オレンジ色：消防本部（本署） 緑色：南分署 灰色：北分署 黄色：犬上分署 青色：消防団分団車庫

施設の長寿命化を図る上で、消防施設としての機能を維持していくために必要な設備等についても、それぞれの耐用年数や劣化状況により、適正かつ計画的に予防保全を実施します。

(1) 対策の優先順位の考え方

- 建物については、各施設の劣化診断結果(判定レベルA～Dの4段階の評価)とその修繕に関する緊急度や利用者の安全面、施設の利用状況等を勘案し、優先順位を判断します。
- 設備については、経過年数や保守点検結果、故障した場合に及ぼす影響の大きさ等を考慮し優先順位を判断します。

(2) 使用目標年数の設定

- いずれの施設も鉄筋コンクリート造または鉄骨造の建物であることから、施設の使用目標年数は**65年**(※)に設定します。

※「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事」(日本建築学会)による

■継続的な維持保全

定期的な点検

- 施設の安全性を確保するため、建物の状態について適切に把握していく必要があります。
- 施設管理者による日常的な点検や専門家による定期的な点検を実施します。

維持管理・修繕・更新等の実施

- 本計画を参考に修繕、更新を適切に実施します。
- 今後の点検の結果により、修繕や更新など、本計画を定期的に見直します。

情報の整理と活用

- いつどの部位の修繕、更新を行ったのかを適切に把握していく必要があります。
- 修繕、更新等をモニタリングし、進捗管理していくことが重要です。
- 消防施設等のデータベースを活用することし、修繕履歴や点検結果を次の点検や計画の見直しに活かしていく「メンテナンスサイクル」を構築します。

彦根市消防施設適正管理計画

概要版

■計画の目的等

- 財政状況が厳しい中、公共施設等がこれから大量に更新や建替時期を迎える
- 人口減少等による公共施設等の利用需要の変化

- 近年の災害傾向、消防職員の増員などの消防を取り巻く環境変化に対応
- 住民の安全の確保、災害の防除、被害を最小限に軽減

彦根市公共施設等 総合管理計画

消防施設等に係る長寿命化・効率化かつ効果的な運営について、具体的に示す

「彦根市消防施設等適正管理計画」を策定

【計画期間】令和3年(2021年)～令和12年(2030年)の10年間

■計画の対象施設

No.	対象施設	建築年度	階数	構造	敷地面積(㎡)	延床面積(㎡)
1	消防本部(本署)	S61(1986)	3階	RC造	6,735.89	2,997.27
2	南分署	H10(1998)	平屋	S造	5,755.70	759.79
3	北分署	H5(1993)	2階	S造	1,088.00	631.99
4	犬上分署	H7(1995)	2階	S造	3,888.30	897.01
5	消防団第1分団	H11(1999)	2階	S造	158.95	96.93
6	消防団第2分団	H4(1992)	平屋	S造	1,336.71	75.50
7	消防団第3分団	S58(1983)	2階	S造	84.68	101.99
8	消防団第4分団	R2(2020)	2階	S造	411.74	96.60
9	消防団第5分団	R1(2019)	2階	S造	350.70	110.84
10	消防団第6分団	H3(1991)	2階	S造	213.03	68.60
11	消防団第7分団	S63(1988)	平屋	S造	102.81	59.44
12	消防団第8分団	H25(2013)	2階	S造	463.24	80.94
13	消防団第9分団	H24(2012)	2階	S造	158.15	80.94
14	消防団第10分団	H29(2017)	2階	S造	337.68	90.06
15	消防団第11分団	H5(1993)	平屋	S造	270.48	101.25
16	消防団第12分団	H7(1995)	平屋	S造	635.88	84.20
17	消防団第13分団	H8(1996)	2階	S造	160.54	70.00
18	消防団第14分団	S59(1984)	平屋	S造	262.55	112.35
19	消防団第15分団	H7(1995)	2階	S造	486.67	197.63



消防本部(本署)



南分署



北分署



犬上分署



消防団第1分団



消防団第2分団



消防団第3分団



消防団第4分団



消防団第5分団



消防団第6分団



消防団第7分団



消防団第8分団



消防団第9分団



消防団第10分団



消防団第11分団



消防団第12分団



消防団第13分団



消防団第14分団

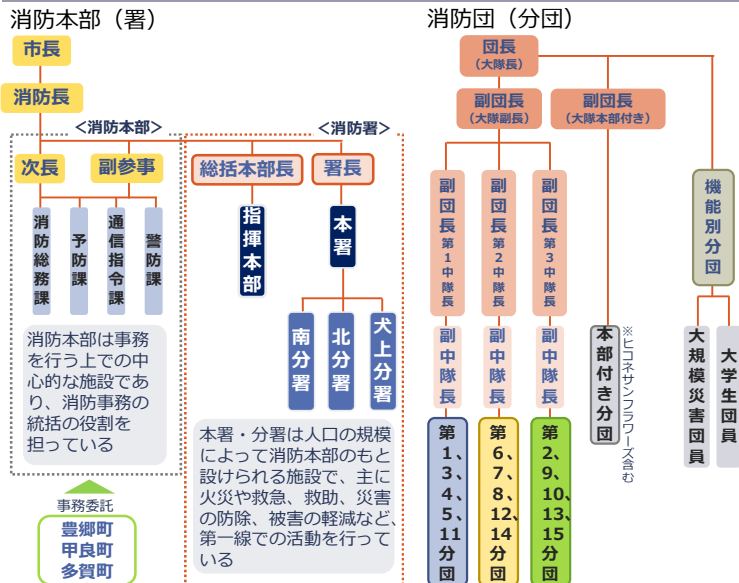


消防団第15分団

■ 消防施設の立地状況



■ 彦根市消防の組織構成



■ 各施設の方向性

- ### 消防本部(本署)の方向性
- 改修および共同運用による効率性の向上**
 - 多くの職員、団員が働く環境づくり
 - 設備を適切に廃止、更新等を行うことにより、空きスペースも利用した一体的な利用改善
 - 共同運用を含めた通信指令施設のあり方の検討
 - 適正な維持管理の実施による長寿命化**
 - 予防保全を計画的に行うことによる施設の長寿命化およびライフサイクルコストの低減
 - 適切な管理運営の実施**
 - バリアフリー化の検討
 - 時代に合った訓練施設の充実
- ### 南分署の方向性
- 改修による利便性・効率性の向上**
 - 利用実態に合った適切な設備の更新・修繕の実施
 - 増築などの検討も含めた環境改善
 - 適正な維持管理の実施による長寿命化**
 - 予防保全を計画的に行うことによる施設の長寿命化およびライフサイクルコストの低減
- ### 犬上分署の方向性
- 改修による利便性・効率性の向上**
 - 機能上重要な設備について、優先的に修繕、更新を行うことによる利用改善
 - 適正な維持管理の実施による長寿命化**
 - 予防保全を計画的に行うことによる施設の長寿命化およびライフサイクルコストの低減
- ### 北分署の方向性
- 出勤時間の短縮化に向けた課題の解消**
 - 当面の間は現状維持するものとして適正な維持管理。一方、課題解決のため、中長期的には、移転を検討
 - 適正な維持管理の実施による長寿命化**
 - 予防保全を計画的に行うことによる施設の長寿命化およびライフサイクルコストの低減
- ### 消防分団の方向性
- 施設の移転による課題の解消**
 - 第3分団は消防活動上の課題解決のため、計画期間内に移転
 - 第6分団は課題解決のため、計画期間内に移転
 - 適正な維持管理の実施による長寿命化**
 - 予防保全を計画的に行うことによる施設の長寿命化およびライフサイクルコストの低減

■ 消防施設等の主な課題

施設名	消防本部(本署)	南分署	北分署	犬上分署	消防分団
立地	<ul style="list-style-type: none"> ■ 周辺環境 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校が近くにある ■ 災害リスク <ul style="list-style-type: none"> ・ 1.0~3.0mの浸水想定区域内 ※通信指令課が1階 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 災害リスク <ul style="list-style-type: none"> ・ 0.5~1.0mの浸水想定区域内 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 周辺環境 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対向でさぎ、大型消防車の出場に苦慮 ■ 災害リスク <ul style="list-style-type: none"> ・ 1.0~3.0mの浸水想定区域内 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 周辺環境 <ul style="list-style-type: none"> ・ 給油施設が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第6分団 <ul style="list-style-type: none"> ・ 管轄区域の北西端に立地 ● 第1、2、4、5、6、7、14分団 ■ 災害リスク <ul style="list-style-type: none"> ・ 1.0~3.0mの浸水想定区域内
施設の機能面	<ul style="list-style-type: none"> ■ 消防職員の増員への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 執務、生活(更衣室、トイレ等)、収納、訓練、駐車スペースの不足 ■ 非常用発電機への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3基ある非常用発電機の年式が異なるため、更新のタイミングを検討 ■ 高機能消防指令システムへの対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の設置場所や更新時期、運用方法を検討 ■ 機能上の支障及び改善 ■ 防犯対策の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 消防職員の増員への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車、生活、収納スペースの不足 ■ 機能上の支障及び改善 ■ 防犯対策の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 消防職員の増員への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車、生活、収納スペースの不足 ■ 防犯対策の充実 ■ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮眠室の換気が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 消防職員の増員への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車、生活、収納スペースの不足 ■ 防犯対策の充実 ■ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 仮眠室の換気が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第3分団 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車、活動スペースの不足 ● 第6、7分団 <ul style="list-style-type: none"> ・ 分団員が入りきれない ・ 車両の大型化に対応しておらず、分団車庫として手狭
劣化状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 劣化の進行 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外壁のコンクリートの剥離、鉄筋の露出など、劣化が進行 ・ 訓練塔の劣化 ・ 融雪装置の故障 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 劣化の進行 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外壁の劣化が進行 ・ 不陸傾斜 ・ 舗装が劣化 ・ ドアの下から雨水が浸入 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 劣化の進行 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外壁のパネル面の劣化が進行 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 劣化の進行 <ul style="list-style-type: none"> ・ 不陸傾斜 ・ 融雪装置の故障 ・ 庁舎・訓練塔等の劣化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 第3分団 <ul style="list-style-type: none"> ・ 劣化が進行 ● 第6分団 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外壁の劣化が進行 ・ 不陸傾斜 ● 第10分団 <ul style="list-style-type: none"> ・ 不陸傾斜
費用	<ul style="list-style-type: none"> ■ 修繕費等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間で平均約8,150万円 ■ 光熱水費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 光熱水費は毎年約1,000万円 ■ LCC <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後10年(短期)で約4千万円、2045年までに2億2千万円 ■ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ システムの更新費に約4~5億円 ※中間整備が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 修繕費等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間で平均約65万円 ■ 光熱水費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 光熱水費は毎年約200~250万円 ■ LCC <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後10年(短期)で約3千万円、2045年までに7千万円 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 修繕費等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間で平均54万円程 ■ 光熱水費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 光熱水費は毎年200万円程 ■ LCC <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後10年(短期)で約千万円、2045年までに3千万円 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 修繕費等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間で平均約1,106万円 ■ 光熱水費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 光熱水費は毎年約200万円 ■ LCC <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後10年(短期)で約2千万円、2045年までに6千万円 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 修繕費等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全分団で改築工事、増築工事、修繕費を合わせ、年間平均約1,570万円 ■ 光熱水費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 光熱水費は毎年約100万円